

平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成30年5月

岩国市（山口県）

○計画期間：平成26年11月～平成32年3月（5年5月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成26年11月以降、認定基本計画に基づき、「県東部の中核都市にふさわしい『多くの人が集まり、楽しく暮らせるにぎわいのあるまちづくり』を基本テーマに掲げ、官民が協働して事業を推進している。

岩国駅周辺整備事業においては、東西自由通路・橋上駅舎が平成29年11月に完成・供用開始され、現在、地下通路や国道の直線化を含む駅前広場等の整備を進めている。商店街に目を向けると、長年空き店舗であった中通商店街内テナントビル1階の4店舗において、小売店・サービス店が相次いで開店され、空き店舗率の改善が図られている。全市の人口は減少し続けているが、中心市街地の人口は岩国駅周辺でマンションの建設がされ、微増傾向を保っている。

さらに計画事業の熟度不足等により、基本計画に掲載できなかった民間事業者による駅東地区の拠点整備事業においては、1階に賑わい交流施設を配置する「岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業」を計画に追加掲載することとなった。

また、中通商店街振興組合においては「中通りCCRCフィージビリティ」を、本通商店街振興組合においては「本通商店街アクションプラン」を策定しながら、昨年度株式会社街づくり岩国が作成した「岩国駅周辺のグランドデザイン」の素案について、地元関係者の合意形成を図っている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地区域）	平成25年度 （計画期間開始前年度）	平成29年度 （フォローアップ年度）
人口	4,484人	4,537人
人口増減数	△2人	50人
社会増減数	3人	90人
転入者数	221人	255人

2. 平成 29 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

岩国市中心市街地活性化基本計画認定時において、協議会では推進・調整合体制等の遅れにより未記載となった民間事業者による拠点整備事業については、引き続き、再度十分検討のうえ具体化したうえで、将来に亘り中心市街地の活性化へ繋がり、貢献が見込まれる事業については、岩国市が積極的に調整役を果たされ事業調整を推進し、基本計画へ追加するなどの計画変更を柔軟に行っていただくようお願いしていたところです。

平成 29 年 3 月には、岩国駅周辺拠点施設整備検討事業を基本計画に追加し、関係機関が事業実施に向けて検討・調整を図られたことにより、この度、賑わいの創出及びまちなか居住の促進を図ることを目的に「岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業」として事業化され、基本計画に追加掲載することとなり、協議会としてもその内容等につきまして妥当であると判断いたします。

今後においても、岩国駅周辺における民間事業者による自主的なまちづくりについては、にぎわいの創出につながるよう、官民が連携し、それぞれの役割分担を踏まえた事業の推進を図っていくようご配慮をお願いいたします。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
快適な交通環境の創出	①JR 岩国駅の乗降客数	11,646 人 (H25)	13,470 人 (H31)	11,884 人 (H28)	①	①
活力と魅力あふれる商環境の創出	②卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数	687 店 (H24)	695 店 (H31)	707 店 (H29)	①	①
〃	③本通商店街・中通商店街・中央通り商店街の空き店舗率	17.5% (H25)	11.8% (H31)	12.1% (H29)	①	①
誰もが住み良い環境の創出	④歩行者等通行量 (平日)	33,716 人 (H22～25 の平均)	35,470 人 (H31)	31,695 人 (H29)	①	②
〃	⑤歩行者等通行量 (休日)	32,436 人 (H22～25 の平均)	34,080 人 (H31)	26,040 人 (H29)	①	②
〃	⑥イベント・教室等開催件数	5,296 件 (H25)	6,140 件 (H31)	5,891 件 (H29)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①の JR 岩国駅の乗降客数については、岩国駅周辺整備事業のうち東西自由通路について橋上駅舎化とともに平成 29 年 11 月に完成・供用開始され、事業が順調に推移しており、目標達成可能と見込んでいる。なお、平成 29 年度の数値が公表されていないため、最新値は平成 28 年度のものであり基準値と比べ横ばいである。

②の卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数については、店舗改装費用や新規出店者に対する家賃を助成することによって一定の成果がみられ、平成 30 年度以降も予定通り実施することにより目標達成可能と見込んでいる。

③の空き店舗率については、3 商店街全体で昨年に比べ 3.8% 改善した。特に中通商店街において、長年空き店舗であった中通商店街内テナントビル 1 階の 4 店舗に小売店・サービス店が相次いで開店され、空き店舗率の改善が図られた。今後も②で述べた店舗改装費用や新規出店者に対する家賃の助成などを予定通り推進していくことで目標達成可能と見込んでいる。

⑥のイベント・教室等開催件数については、福社会館や地域交流センターにおける教室等の利用が順調に数値を伸ばしてきていることから目標達成可能と見込んでいる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

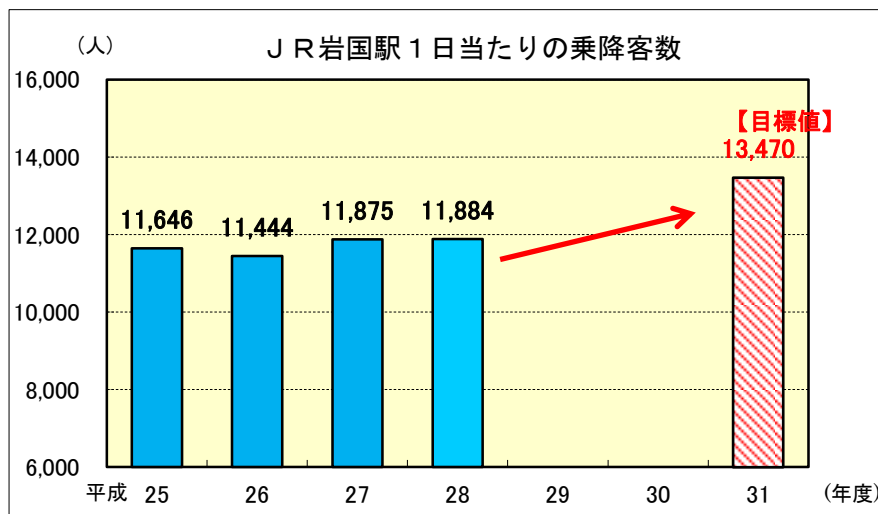
④・⑤の歩行者等通行量については、中心市街地エリアの店舗数増加とイベント・教室等の開催件数の増加を計画による増加数の主な根拠としている中、その二つの数値が伸びているにも関わらず基準値を下回っており、目標達成が困難と危惧される。

このたび「岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業」を基本計画に追加掲載したが、完成を33年度と予定しており、直接的な効果の発現は期待できないが、31年度に完成を予定している東口駅前広場との相乗効果や未だに事業化が図られていない駅西口の拠点整備事業の推進、他の民間事業者による新たなまちづくりに繋がることにより、効果の発現が期待できる。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「JR 岩国駅の乗降客数」※目標設定の考え方基本計画 P68～P74 参照

●調査結果の推移



年度	(単位：人)
H25	11,646 人/日 (基準年値)
H26	11,444 人/日
H27	11,876 人/日
H28	11,884 人/日
H29	
H30	
H31	13,470 人/日 (目標値)

※調査方法：西日本旅客鉄道㈱に聞き取り調査。

※調査月：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月（集計は毎年 7 月実施）

※調査主体：西日本旅客鉄道㈱

※調査対象：JR 岩国駅の乗降客数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 岩国駅周辺整備事業（岩国市、西日本旅客鉄道株式会社）

事業完了時期	平成 25 年度～平成 31 年度【実施中】
事業概要	JR 岩国駅のバリアフリー化、東西の地域をつなぐ自由通路の整備、東西の駅前広場の再整備等を行う。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を 1,740 人/日増と見込んでいる。 本事業のうち東西自由通路・橋上駅舎については、平成 29 年 11 月に完成・供用開始された。現在、平成 31 年度末の完成を目指し駅前広場等の整備を進めている。

②. モビリティ・マネジメント事業（岩国市）

事業完了時期	平成 27 年度～平成 30 年度【実施中】
事業概要	過度の自動車利用の抑制と公共交通の利用促進を目的とした啓発活動等を行う。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を 630 人/日増と見込んでいる。 平成 29 年度では、これまで配布している公共交通総合時刻表とマップに追加情報を掲載する等、よりわかりやすく便利になるよう更新して配布するとともに、10 月版の公共交通総合時刻表では利用者のニーズ調査のため、アンケートハガキ付きでの配布を実施し、利用者ニーズの把握にも努めた。

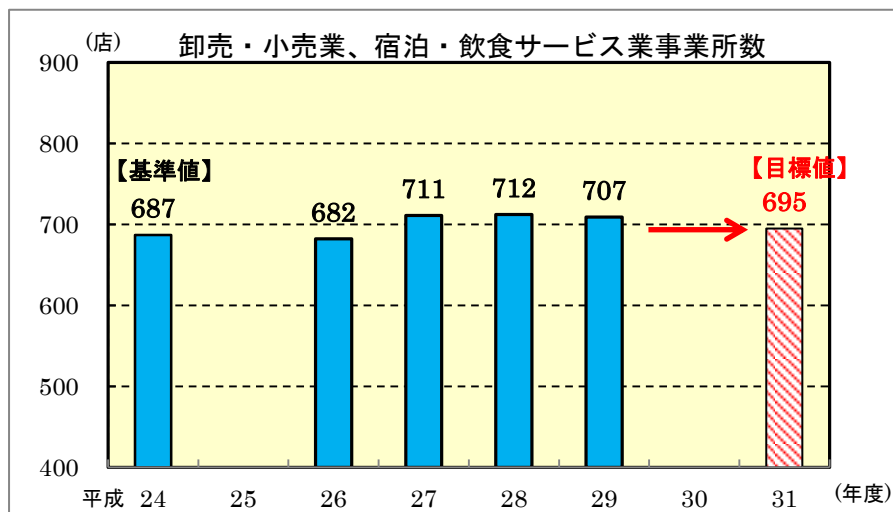
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年11月に東西自由通路・橋上駅舎が完成・供用開始された岩国駅の平成29年度の乗降客数は、本フォローアップ後に公表されるため、最新値は基準値と比べ微増にとどまっている。現在、平成31年度末の完成を目指し駅前広場等の整備を進めており、目標達成可能と見込んでいる。

「卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業の事業所数」

※目標設定の考え方基本計画 P74～P78 参照

●調査結果の推移



年度	(単位：店)
H24	687 店 (基準年値)
H26	682 店
H27	713 店
H28	712 店
H29	707 店
H30	
H31	695 店 (目標値)

※調査方法：基準年値データ（H26 経済センサスデータ）を基に机上及び現地調査を実施。

※調査月：平成30年2～3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地区域を含む丁目単位の卸売・小売、宿泊・飲食サービス業の事業所

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗活用奨励事業（家賃補助・融資）（岩国市）

事業完了時期	平成20年度～平成31年度【実施中】
事業概要	エリア内の空き店舗の新規出店者に奨励措置を行う。 経営基盤の安定化や店舗の魅力向上が図られると同時に、新たな出店を促進する。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を50店舗の増と見込んでいる。 認定日以前の新規出店はアーケードに面した商店街の空き店舗を奨励の対象としていたが、認定日以後は、エリアを拡大し、中心市街地計画区域全域においてを対象とすることとした。平成29年度は18店舗を奨励措置の事業所に指定した。

- ②. 隠れ家探訪事業（岩国市）
- ③. まちなか商店リニューアル助成事業（岩国市）
- ④. 起業家スター誕生支援事業（岩国市）

事業完了時期	平成２７年度～平成３１年度【実施中】
事業概要	顧客獲得に資する情報発信や店舗改装等の費用の支援、起業の際のノウハウの提供等、さまざまな観点から、店舗の経営基盤の安定化、魅力向上等を図り、事業所の出店を促進する。 ②商店街や公共施設と隠れ家的に存在する個店が連携を図るために個店の情報を発信する。 ③店舗経営を行う人、これから行おうとする人に対し、店舗改装等の費用を助成する。 ④起業を目指す者に対し、ノウハウの習得を支援する。
事業効果及び進捗状況	本３事業による事業効果を５店舗の増と見込んでいる。 ②の隠れ家探訪事業においては、地元情報誌に中心市街地の店舗やイベントの情報を継続掲載し、年度末にはそれまでに掲載した中心市街地の情報のみを取り扱った再編集号を発行した。 ③のまちなか商店リニューアル助成事業においては、１２事業者が助成を受け、店舗改装等を行った。そのうち８件が新規事業者であった。 ④の起業家スター誕生支援事業においては、いわくに創業カレッジ 2017として２７名が、まちなか創業セミナーとして８月・１月の２回実施し、延べ２５名が受講した。

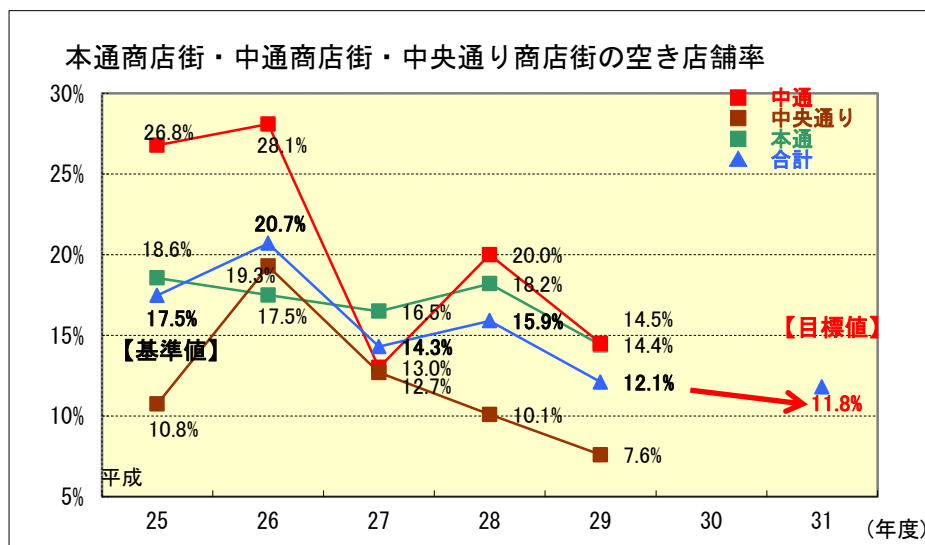
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成２９年度は、空き店舗活用奨励事業やまちなか商店リニューアル助成事業において一定の成果がみられ目標達成可能と見込んでいる。平成３０年度以降も予定している上記の事業のほか、基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより、目標達成に向けて取り組んでいく。

「本通商店街・中通商店街・中央通り商店街の空き店舗率」

※目標設定の考え方基本計画 P78～P82 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H25	17.5% (基準年値)
H26	20.7%
H27	14.3%
H28	15.9%
H29	12.1%
H30	
H31	11.8% (目標値)

※調査方法：現地調査

※調査月：平成29年12月

※調査主体：岩国市

※調査対象：本通商店街・中通商店街・中央通り商店街

- ①. 空き店舗活用奨励事業（家賃補助・融資）（岩国市）【再掲】
- ②. 隠れ家探訪事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなか商店リニューアル助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. 起業家スター誕生支援事業（岩国市）【再掲】

事業完了時期	(再掲)
事業概要	(再掲)
事業効果及び進捗状況	店舗総数は、246店舗が平成31年度末まで推移するものとし、本4事業による事業効果を17店舗の増と見込んでいるため、空き店舗率は11.8%になることを見込んでいる。 ①の空き店舗活用奨励事業においては、平成29年度は18店舗（うち商店街内は8店舗）を奨励措置の事業所に指定した。 ②の隠れ家探訪事業においては、地元情報誌に中心市街地の店舗やイベントの情報を継続掲載し、年度末にはそれまでに掲載した中心市街地の情報のみを取り扱った再編集号を発行した。 ③のまちなか商店リニューアル助成事業においては、12事業者（うち商店街内は5店舗）が助成を受け、店舗改装等を行った。そのうち8件が新規事業者であった。 ④の起業家スター誕生支援事業においては、いわくに創業カレッジ2017として27名が、まちなか創業セミナーとして8月・1月の2回実施し、延べ25名が受講した。

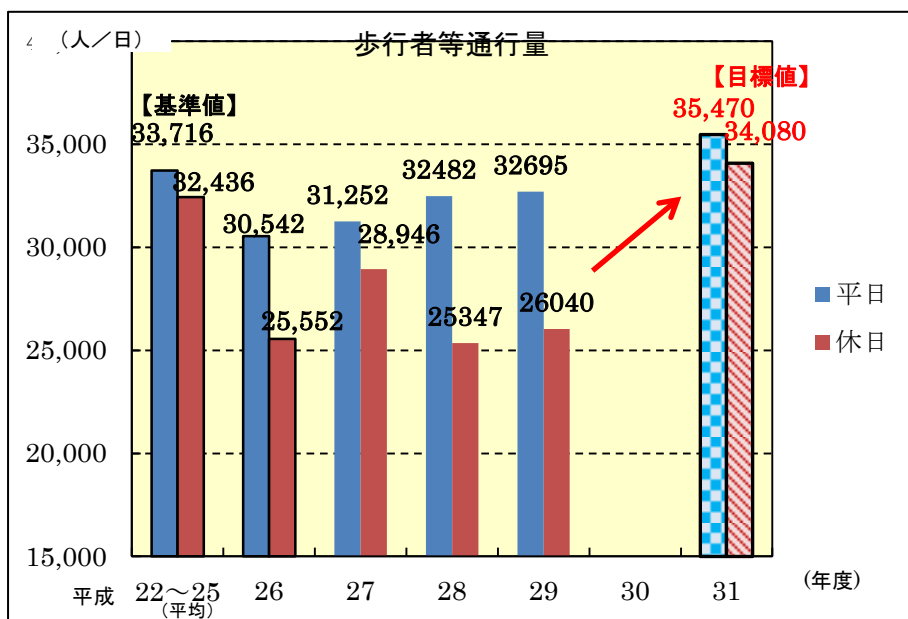
●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年度は、3商店街全体で昨年に比べ3.8%改善した。特に中通商店街においては、長年空き店舗であった中通商店街内テナントビル1階の4店舗において、小売店・サービス店が相次いで開店され、空き店舗率の改善が図られている。また他の2商店街においても、同様に空き店舗に新規出店が見られており、目標達成可能と見込んでいる。平成30年度以降も予定している上記の事業のほか、基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより、目標達成に向けて取り組んでいく。

「歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P82～P88 参照

●調査結果の推移



※調査方法：歩行者と自転車の通行量を毎年2月の木曜日と日曜日に10時から19時に計測

※調査月：平成30年2月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内12地点

年度	(単位)
H22 ~25 平均	平日 33,716 人/日 休日 32,436 人/日 (基準年値)
H26	平日 30,542 人/日 休日 25,552 人/日
H27	平日 31,252 人/日 休日 28,946 人/日
H28	平日 32,482 人/日 休日 25,347 人/日
H29	平日 31,695 人/日 休日 26,040 人/日
H30	
H31	平日 35,470 人/日 休日 34,080 人/日 (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 岩国駅周辺整備事業（岩国市、西日本旅客鉄道株式会社）

事業完了時期	(再掲)
事業概要	(再掲)
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を1,740人/日増と見込んでいる。 本事業のうち東西自由通路・橋上駅舎については、平成29年11月に完成・供用開始された。現在、平成31年度末の完成を目指し駅前広場等の整備を進めている。

- ②. 空き店舗活用奨励事業（家賃補助・融資）（岩国市）
- ③. 隠れ家探訪事業（岩国市）
- ④. まちなか商店リニューアル助成事業（岩国市）
- ⑤. 起業家スター誕生支援事業（岩国市）

事業完了時期	（再掲）
事業概要	（再掲）
事業効果及び進捗状況	本4事業による事業効果を平日 835 人／日増、休日 803 人／日増と見込んでいる。 ②の空き店舗活用奨励事業においては、平成29年度は18店舗（うち商店街内は8店舗）を奨励措置の事業所に指定した。 ③の隠れ家探訪事業においては、地元情報誌に中心市街地の店舗やイベントの情報を継続掲載し、年度末にはそれまでに掲載した中心市街地の情報のみを取り扱った再編集号を発行した。 ④のまちなか商店リニューアル助成事業においては、12事業者（うち商店街内は5店舗）が助成を受け、店舗改装等を行った。そのうち8件が新規事業者であった。 ⑤の起業家スター誕生支援事業においては、いわくに創業カレッジ 2017として27名が、まちなか創業セミナーとして8月・1月の2回実施し、延べ25名が受講した。

●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者等通行量については、中心市街地エリアの店舗数増加とイベント・教室等の開催件数の増加を計画による増加数の主な根拠としている中、その二つの数値が伸びているにも関わらず、平成29年度は基準値を下回っており、目標達成が困難と危惧される。

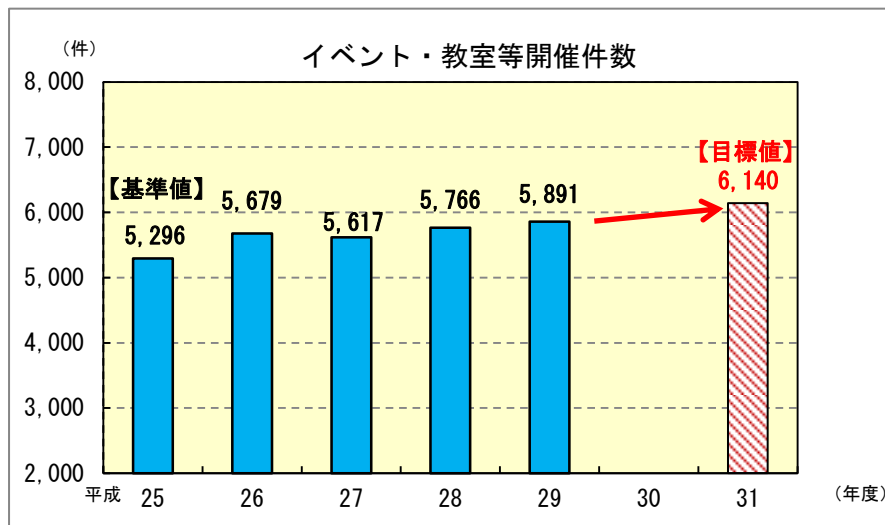
歩行者通行量が伸び悩んでいる原因の一つとして、中心市街地内の店舗やイベント等の開催に対する情報発信が不足していると考えられていたことから、店舗情報（営業時間等の基本情報のほかに、近隣駐車場の場所やWi-Fi・洋室トイレ・英語メニューの有無など）やイベントを検索・紹介できるアプリ「ぶち岩国」を㈱街づくり岩国が平成29年7月にリリースした。29年度においては、地元情報誌や街づくり岩国のHPにアプリの情報を掲載したり、商店街にフライヤーを掲示するなどして宣伝を行ったが、今後は、より多くの観光施設や公共施設にフライヤーを設置するなどして認知度を高めていくこととしている。

また、ハード事業については、「岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業」を基本計画に追加掲載したが、完成を33年度と予定しており、直接的な効果の発現は期待できないが、31年度に完成を予定している東口駅前広場との相乗効果や未だに事業化が図られていない駅西口の拠点整備事業の推進、他の民間事業者による新たなまちづくりに繋がることにより、効果の発現が期待できる。

「イベント・教室等開催件数」

※目標設定の考え方基本計画 P88～P93 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H25	5,296 件 (基準年値)
H26	5,679 件
H27	5,617 件
H28	5,766 件
H29	5,891 件
H30	
H31	6,140 件 (目標値)

※調査方法：事業実施者からの聞き取り調査

※調査月：平成30年3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：計画に掲載している中心市街地イベント・教室等

- 働く婦人の家リニューアル事業（岩国市）
- 福祉会館リニューアル・耐震化事業（岩国市）

事業完了時期	① 働く婦人の家リニューアル事業 平成27年度～平成28年度【実施済】 ② 福祉会館リニューアル・耐震化事業 平成28年度～平成30年度【未】
事業概要	① 働く婦人の家リニューアル事業 未利用スペースを活用し、より多くの開催環境を整備する。 ② 福祉会館リニューアル・耐震化事業 耐震化事業を実施して施設の安全性を確保するとともに、一層の利用促進を図る。
事業効果及び進捗状況	本2事業による事業効果を659件増と見込んでいる。 ①の福祉会館リニューアル・耐震化事業は、事業の見直しがされており、事業延期されているが、本2事業による利用者数は、利用促進により基準年度と比べ426件増と利用者数が順調に伸びている。

- 地域交流センター等活用事業（岩国市・民間）

事業完了時期	平成25年度～【実施中】
事業概要	主として街づくり機運を高める勉強会等を開催する。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果を100件増と見込んでいる。 順調に施設を活用されており159件の実績があった。引き続き平成30年度以降も利用促進をしていくこととする。

●目標達成の見通し及び今後の対策

福社会館や地域交流センターを中心に順調に教室等の実施・開催がされていることから目標達成可能と見込んでいる。基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより、目標達成に向けて取り組んでいく。